

Q 歴史のある槻木地区のまちづくりは

A 文化の香りただよう
安心できる地区を目指す



星 吉郎 議員



槻木市街地

問 (1) 昨年行われた合併に関わる住民懇談会は、地域住民の声を新市建設計画に反映させることや、合併の考え方・中身を知らせるために実施されたものだと感じた。
その懇談会で新市建設計画に取り入れるものはあったか。

答 滝口町長 (1) 懇談会の意見、要望など、重点的に事業を盛り込んで行きますが、財政シミュレーションとの関係もあり

るので、必要な事業から考えて行きたい。
(2) 槻木事務所の機能をさらに強化して行き、北部地域の道路ネットワークの整備と、槻木市街地の進入路確保、安心できる文化のただよう槻木地区を目指して参りたいと思います。

問 昭和の大合併以来、早くも半世紀近くになろうとしています。

合併にはメリットもデメリットもあります。これらを町長にはよく認識され、子々孫々まで悔いのない合併に取り組

んでいつてもらいたいと思います。

(1) 町の将来像をどのように描き、必要な対策を合併と同時に行わなければならぬのではないかと考えるがどうか。
(2) 明確なビジョンと、

戦略が必要と思われま

(3) バイパス道から槻木の街に入る道路の通行止めは解除できないものか。
(4) 槻木北部地域の生活道の早期着工の考えは。

Q 次世代につながる合併を

A 新事務所は柴田町へ

多極分散型の都市機能を生かしていくためにも、新事務所を船岡へ置くように主張していきたいと思っています。
(3) 通行止めになって8年も経っており、県に対して槻木大橋側道開放の

要望書を提出しています。
(4) たびたび請願陳情があり、新市に引き継ぎ整

備するよう確認しております。



百々喜明 議員



通行止めになっている槻木大橋側道